

あずまや「よささ亭」

栃木県那須町建設課 維持管理担当 小山田洋治

1. はじめに

那須町の総面積は372.31km²で、栃木県の北部に位置し、東京まで約170km、県都宇都宮まで約60kmの距離にあり、東と北は福島県に接しています。本町の交通網は、JRの東北本線及び東北新幹線、東北自動車道、国道4号及び国道294号が通っており、広域的な交通条件に恵まれています。東北自動車道には那須インターチェンジがあり、2つ目のインターチェンジである那須スマートインターチェンジが今秋には、現在のハーフインターチェンジ方式からフルインターチェンジ方式を予定しています。

また、那須温泉郷は、今から1370年ほど前（飛鳥時代）に発見されたといわれる鹿の湯をはじめ、弁天温泉、北温泉、大丸温泉、高雄温泉、八幡温泉、三斗小屋温泉が明治初期までに発見され、これらは那須七湯と呼ばれさまざまな効能・泉質、豊富な湯量を誇っています。

那須温泉郷を含む那須高原は、日光国立公園の北東部に位置し、1,915mの茶臼岳を中心とした那須連山と関東平野を一望できる雄大な眺望、春の新緑、夏の涼風、秋の紅葉を求めて首都圏を中心とした観光客が年間約500万人訪れています。現在の那須高原は、東北自動車道那須インターチェンジから那須湯本一軒茶屋付近までのエリアに、多種多様なテーマパーク、美術館、博物館等のレジャー施設、ペンション、レストラン等が点在しています。最近では、トレッキングブームにより中高年齢層の登山者が増加しています。



煙たなびく茶臼岳

2. 那須御用邸の歴史

那須御用邸は、大正14年（1925）11月に着工、大正15年（1926）7月に竣工しました。

本邸は標高695mに位置し、敷地面積13,172坪。主に昭和天皇が滞在し、かつては外国からの要人を招いて迎賓館として使用されたこともある洋風建築の建物です。

那須御用邸用地は、明治23年（1890）に官有原野を編入した御料地の一部に隣接する民有地を買い上げた土地からなります。

全体で約1,222haという広大な敷地を有しています。このうち560haが「那須平成の森」として、国民が自然に直接触れ合える場として活用されることになりました。



那須に咲く「やしおつつじ」

3. 御用邸のある保養地

「ロイヤルリゾート那須」。すなわち、那須御用邸がある保養地であることの意味は、那須がすばらしい自然環境を有し、非日常の静かな、そしてリフレッシュできる場所であることをしめています。

那須御用邸は当時皇太子だった昭和天皇が、出来たばかりの御用邸にひと月滞在されたのを機に、昭和天皇の御成婚後の御静養の場として設置されました。昭和から平成の年月の中で天皇家や皇族方がしばしばご静養に訪れています。

皇室の方々が那須においてになり、折に触れては那須の自然や人々と親しまれる様子が伝えられることは、那須の地域価値の再認識や郷土愛を育むことにもつながっています。

主要地方道那須高原線、通称「那須街道」の入り口道両側に50mの幅で2 kmも続く赤松林の景観は「とちぎ景勝百選」などにも選ばれた名勝地です。

標高300～330mに位置し、面積79ha内に約14,000本のアカマツからなる天然林で、昭和22年（1947）まで「高久第一御料地」と呼ばれる旧宮内省所管の御用林で、現在は日光国立公園特別地域に指定され、林野庁が管理しています。



那須街道の赤松林とあじさい

4. あずまや設置の目的

平成10年8月下旬、6日間で1,254mmの記録的な降雨により、本町を縦断する余笹川や黒川など中小河川が氾濫しその流域に未曾有の被害を受けました。

この集中豪雨災害（那須水害）の後、環境の保全に配慮した災害復旧工事が急ピッチで行われ、地域住民から親しまれる安全・安心な余笹川となっています。

平成20年には、余笹川ふれあい公園地内で那須災害十周年事業として「災害を忘れない、災害に備える」ことを目的にオーナー制による桜の植樹を行いました。

現在は、「余笹川ふれあい公園」桜堤として、魚釣りや、家族連れなどの利用者が多く、ふれあいの場・憩いの場として利用されています。

しかし、木陰が少なく、利用者の多い夏場の日差しを避ける場所がないなど、あずまや設置が望まれていました。

そこで（財）リバーフロント整備センターが（財）日本宝くじ協会の助成を受けて行っている「水辺施設の設置事業」により整備して頂きました。



完成した「よささ亭」

5. 整備効果

今回整備して頂いたあずまやに名前を余笹川にちなんで「よささ亭」と名付け、地域に密着したふれあいの場、憩いの施設にしていきたいと思っています。

あずまやのある所は、那須町ふれあい公園の一角にあり、街の中心である黒田原地区に近く朝夕の散歩・子供達の水遊びなど、自然とのふれあいの場となっています。



「那須九尾まつり」：余笹川ふれあい公園
（毎年9月に開催）